

第二回ステークホルダー会議 ダイジェスト版

2006/10/07 なごや循環型社会・しみん提案会議 実行委員会 事務局

日 時：10月7日 10時半～17時

会 場

：伏見ライフプラザ（4階講堂）

参加者：ステークホルダー23名

（1名欠席、1名途中退席）



写真：班別での意見交換
それぞれの意見を書き出し、
班内で発表している様子です。

今回の会議では、専門家からの追加情報、15～20年後を展望し、名古屋において循環型社会を実現するために最も重視する点について、グループに別れ検討を行いました。

午前中は、9月23日の会議でステークホルダーが要望した追加情報の項目に基づいて、実行委員の石川さんが専門家として情報提供をしました。その後、質疑応答が行われました。

午後は、15～20年先の展望した上で、名古屋において循環型社会を実現するために大切であると考えられる事について、ステークホルダーが3班に分かれて意見を出し合いました。各班から出された意見は以下のようなものでした。

- ・発生抑制
- ・リユース
- ・リサイクル
- ・焼却
- ・埋立について
- ・生ごみ
- ・プラスチック類について
- ・家庭ごみの有料化について
- ・レジ袋について
- ・EPRについて
- ・排出者への動機付けについて
- ・事業系ごみのリサイクルについて
- ・資源の循環
- ・循環型社会づくりにおける焼却の位置づけについて
- ・今後の取組の実施主体について・・・など

これらの意見を基に、ステークホルダー全体が名古屋において循環型社会を形成するためにどのような点を重視しているかを整理して、アンケートをおこなう予定です。

次回の会議では、アンケートの結果を参考に、名古屋の将来を展望し、循環型社会を実現するために、重要と考えられる論点について議論を行う予定です。